

# 令和4年度もとみや結婚サポート事業について

## 1 事業の概要

### (1) もとみや出会いサポート事業

#### ア 縁結びサポート活動

- ・縁結びサポーターによる相談者への支援活動（相談・アドバイス等）
- ・縁結びサポーターによる相談者同士の引き合わせ

#### イ 縁結びサポート制度PR

- ・名刺タイプチラシを活用した市内外企業への制度周知

#### ウ コミュニケーション能力及び広域連携強化

- ・ふくしま結婚・子育て応援センターへの視察及び県世話やき人との交流会実施
- ・二本松市結婚お世話役との交流会実施

#### エ 福島圏域移住定住促進協議会による婚活イベント

- ・本宮・二本松・大玉を巡る婚活イベントの開催
- ・男女の出会いの場

### (2) 結婚新生活支援事業

#### ア 結婚新生活支援補助金

- ・新婚世帯の新生活にかかる住居費（住居購入、リフォーム費、賃料等）及び引っ越し費用の一部を補助（39歳以下、夫婦の所得が400万円未満などの諸条件あり）

#### イ 結婚新生活支援補助金PR

- ・名刺タイプチラシを活用した市内外企業への制度周知
- ・SNS広告（Instagram・Facebook）を活用した制度周知

## 2 現状・課題と対応策

### (1) もとみや出会いサポート事業

- ・相談者は10名だが、すべて男性で構成されており、引き合わせが難しい状況である  
⇒近隣自治体においても、女性相談者の確保は難しく、市町村規模での限界もある
- ・相談者アンケートの結果では、サポート制度に対する「満足度」が16.7%と低い  
⇒相談者が希望しているのは「出会いの場」であり、より広い規模での出会いの場創出が必要。より広域で実施しており、登録者が多く、実績のある福島県の結婚支援制度（結婚世話やき人、はぴ福なび）を活用することで、相談者がニーズに沿った支援を受けることが可能になる
- ・サポーターアンケート及び報告書から、サポーターも支援活動に苦慮している模様  
⇒昨今の婚活事情、若者の恋愛観などが複雑化しており、より専門的な知識や経験値が求められる

## (2) 結婚新生活支援事業

・ 交付実績 16 件と過去最多件数となり、認知度も令和 3 年度の 22.2%から令和 4 年度の 48.3%と約 2 倍となったが、以前として低い割合である

⇒ 経済的不安の軽減による結婚の後押しが目的であり、若い年齢層が多いため、オンラインによる周知が効果的である（オンラインにより認知した割合 71.4%）

## 3 総合計画及び総合戦略における位置づけ

(1) 総合計画：分野 1 > 施策 1 > 施策の柱 3 結婚活動の支援

(2) 総合戦略：基本目標 2 > 基本的方向 1 > 具体的施策① 結婚・出産・子育て支援

※その他、事業実績・効果検証の内容の詳細は、資料 4～資料 6のとおり